



かつこうら

移住の試住

ものがたり

それぞれの田舎暮らし

## それぞれの田舎暮らし かつつら暮らし

徳島県勝浦町と聞いて、はっきりと場所が分かるひとは、きつと少ないでしょう。

徳島に住むひとなら、思い浮かぶのは「みかん」と、それから「ひな祭り」かもしれません。

その勝浦町は、徳島の東部に位置する中山間地。

町名の由来ともなる勝浦川が西北につらぬいた、山あいの小さな田舎町です。

県都たる徳島市に隣接し、徳島駅から車で40分程度。

町内には病院やスーパー、コンビニもあり、

暮らしにもほどほど便利。

そのいっぽうで「これ置いといたけん」と、

玄関先に近所の方が収穫した野菜が据えてある、

そんな情景が今なお残る、人情味あふれる町でもあります。

勝浦町に魅かれ、移住してくるひとも、近ごろ少しずつ増えてきました。

先輩移住者の語る、町の魅力はひとそれぞれ。

その中で、あなたの夢や希望に近いものがあれば、

一度勝浦町に足を運んでみませんか？

移住って言葉は、実はちょっと堅苦しい。

田舎町にお引越し、なんてカジュアル感が似合う町。

そんな勝浦町を知ってください。

### 目次

- 3 それぞれの移住
- 13 坂本家体験記
- 19 かつつら暮らしマップ
- 21 かつつら移住・定住支援
- 22 まずはここから、移住ステップ



夫婦でみかん農家に新規就農。  
ゲストハウスも開業します。



## 夫婦で仕事を作る その夢を叶える場所。

勝浦町に移住する前は、お互い東京都内で仕事をしていました。東京での仕事は忙しいなか充実感もありましたが、たとえば子育てなど、今後生活環境が変わっていく中で、同じ仕事を続けられる想像がつかなく、いつか夫婦二人で一緒に仕事が出来ればと考えるようになってきました。

そんな中、東京で開催された四国暮らしフェアで、勝浦町の「貯蔵みかん後継者マッチング事業」を知ったことがきっかけとなり、勝浦町に移住してきました。

移住前に、二度勝浦町に滞在しましたが、現在お世話になっている農家さんをはじめ、移住コーディネーターや、役場の方、地域の方の温かく親切な対応にも感激しました。また、私たちが継ぐ事になる園地の景観や、住居となる古民家のたたずまいもすばらしく、こ

こでなら自分たちの目標としている生活が実現できるという予感を得たことが決め手となりました。

勝浦町には病院やスーパーがあり、生活の不便さを感じることはありません。車を運転する機会こそ増えましたが、そのぶん行動範囲が広がって、東京にいたときよりも遊びに行く機会も増えました。近隣のダム湖でカヤックを楽しんだり、海までドライブしたりなど遊べる場所も意外に多く、充実した余暇を過ごしています。



理想が実現した夫婦二人での仕事

## もう一つの夢

農家としての自立も大きな目標ですが、二〇一七年の夏に自宅を使ったゲストハウスの開業もめざしています。農家としての日常をお客様と共に過ごすことで、特別な体験を提供できる宿にしたいと考えています。

みかん栽培は、作業を行う時期のメリハリがあり、半農半Xのように兼業で仕事するのに適した作物だと感じます。私たちの姿を見て、みかん農家を継ぐことも面白そうだなと思うってくれる方が増えれば嬉しいです。



古民家を改装し、住居兼ゲストハウスに

## 私のっておき勝浦町

My fav! Katsuura

『呑口 (のみぐち) さんのラーメン』

濃い味付けの徳島ラーメンとは一線を画す、あっさり味のラーメン。冬季限定のおでんも美味!



石川 翔さん ■出身地: 千葉県  
石川 美緒さん ■出身地: 埼玉県

■移住年: 2016年 ■移住前の住所: 東京都  
■職業: 農業 ■家族構成: 夫婦

東京都より移住してきた石川様ご夫婦。翔さんのみかん好きが極まって、まさかのみかん農家就農。勝浦町にはそれまでなかったゲストハウスの開業、またカフェの運営など様々なアイデアで町を面白くしてくれるご夫婦です。

※みかん園地の後継者を募集したい農家さんとの協力で、移住者募集を行ったもの。



マキネッタやエスプレッソマシンで淹れる本格的なコーヒー

### 地域おこし協力隊を卒業し、カフェオーナーに

もともとは地域おこし協力隊として勝浦町に移住してきました。隊員時代は、道の駅の運営や商品開発の仕事をしていましたが、東京でカフェのマネージャーをしていた経験を活かし、卒業後かねてよりの夢だった、イタリアンカフェをオープンさせました。

また、地域活性化ということもコンセプトにした店なので、町内の物産も置かせていただき、訪れる町内外の方に勝浦のすばらしい商品のことを、広く深く知っていただきたいと考えています。

店をはじめてからは、近所の方がふらっと遊びに来るような感覚で来店いただけるようになりまして、都会から来た若者が、こんな場所に突然店など作って、ちゃんとやっていけるのか、心配されるところということもあるのだと思います。そうした気遣いは、とても嬉しいことですね。

当初想像していたほどのんびりではありませんし、なかなか休みも取れませんが、自分のペースで仕事ができると思っています。それは緑深い山が周りにある、すばらしい環境と、都会に比べるとおだやかな町民性のおかげかもしれません。

店を軌道に乗せるという点では、まだまだ道半ばですが、一歩一歩前を向いて進んでいければと思っています。

### 自分のペースでできる仕事 それがやりがい



店内では町の物産品も販売している



かねてからの夢だった  
イタリアンカフェを開業しました。

木島 大輔さん ■出身地：東京都

- 移住年：2010年
- 移住前の住所：東京都
- 職業：自営業
- 家族構成：夫婦

地域おこし協力隊として勝浦町の道の駅に赴任。店舗マネージャーとしての経験を活かし、商品開発や店舗の運営、接客指導など多方面で活躍した後、「田舎でイタリアンカフェをオープンさせる」を実現。勝浦町にイタリア文化を根付かせたいとの思いを胸に、美味しいコーヒーの研鑽に余念がありません。

### 私のとっておき勝浦町

My fav! Katsuura

#### 『大久保鍛冶屋さんの包丁』

阿波の名工に選ばれた勝浦町の鍛冶屋さん。道具としての良さはもちろん、ものづくりに対する姿勢や考え方が、勉強になります。





趣味のアウトドアも充実の環境

**趣味のアウトドアも  
手軽に楽しめる田舎町**

結婚当初は隣の阿南市に住んでいました。家を建てるにあたって、趣味のアウトドアが楽しめるフィールドが近いこと、また職場に近いこと、それから比較的土壌が安いことを基準に選んだところ、勝浦町が候補に上がりました。

阿南市にいた頃から、勝浦町と徳島市の境界となる、中津峰山によく登っていたのですが、住居を構えた生名地区からだ、この山の稜線がよく見えるんです。好き

な山を毎日眺めることができる。それもいいへん好印象でした。

私たちの場合、不動産会社を介して新居を建てたので、土地の取得にまつわる苦労は特にはありませんでした。むしろ阿南市という町から、勝浦町という田舎に移住することに、当初周囲の理解が得られなかったことがあった程度です。勝浦町はすごく田舎だと思われがちですが、徳島市内の中心部に出っていくのも車で三〇分程度と、たいへん便利な立地だと感じます。今では友人や両親にも、勝浦町の利便性の良さを知ってもらえるようになってきました。

私たちのような移住者に対して、近所の方は親切で、気さくに声をかけていただけましたし、野菜やみかんをたくさんいただけたりします。また、趣味や消防団での活動を通じて、町の様々なイベントや祭りをお手伝いさせていたりなど、充実した毎日を送っています。

**充実の子育て支援制度と、  
自然環境の豊かさが魅力**

子どもが高校を卒業するまで経済的な負担が軽減する「子どもはぐくみ医療費助成制度」にはとても助けられています。子育ての環境としても、都市部のように遊具がたくさんある整備された公園こそありませんが、自然には恵まれているので、少し工夫すれば遊び場はいくらでも作れます。家のすぐそばに小川が流れていますが、そこでアメゴ釣りをしたりなどするのは、子どもたちにも好評です。



近所の畑でみかん狩りを楽しむ



豊かな自然環境のなか、  
趣味も子育ても充実の。

私のっておき勝浦町

My fav! Katsuura

『中津峰山の勝浦フライトパーク』

手軽にアクセスできて、満足度の高い絶景が楽しめます。勝浦町は、パラグライダーほかスカイスポーツのメッカでもあるんです。



- 岩佐 勇毅さん ■出身地: 徳島県
- 岩佐 章代さん ■出身地: 徳島県
- 移住年: 2010年
- 移住前の住所: 徳島県
- 職業: 会社員
- 家族構成: 夫婦と子ども

隣の阿南市より移住してきた岩佐様ご夫妻。『田舎のベッタタウン』としての勝浦町にお引越された二人は、共通のアウトドアの趣味も満喫され、移住の満足度は90点とのこと。地域のイベントにも積極的にご協力される、素敵なお夫婦です。

一度都会に出たからこそ、  
勝浦町の魅力に気づきました



### 祖父の農地を継ぐUターン 勝浦町にUターン

高校への進学を機に勝浦町を離れ、その後京都で大学に通っていました。幼いころから食べ物と心の関係に関心が高かったので、大学では臨床心理学を専攻し、食事が心を与える影響について学んでいました。

料理としておいしく加工することも大切ですが、そのおおもとなる食材を自分で作ってみたいと考えたとき、祖父の耕作していた田んぼや畑が、自然と頭に浮かんだんです。そこで両親にその思いを伝えたところ、諸手を上げて賛成してくれて卒業後、勝浦町に戻ってきました。

それまで農業をしたことのない若者が、実家に戻ってきて農地を継ぐということに対し、周囲の人たちにたいへん心配をかけたと思います。特に、安心・安全な食へのこだわりから、無農薬でお米を

作ると言い出したときには、いきなりそんな難しいことが大丈夫かな？と、あまり賛成されませんでした。

この無農薬米については、田植えから収穫に至るまで、イベントと組み合わせ実施したのですが、とても多くの方々にご参加いただき、また無事に収穫できたことで周囲の方にも認めてもらえるようになるなど、自分自身が大きく成長できるきっかけになったと思います。



収穫祭では音楽イベントも開催



柑橘の成長も楽しみのひとつ

### もっと楽しく暮らせる場所に

実は、こんな田舎は嫌だなんていう気持ちも、勝浦町を離れた理由の一つでした。けれども都会に出て逆に、その魅力に気づくようになりました。たとえばお祭りの際など、地区が一丸となってイベントをつくりあげていきます。共同作業の大切さや楽しさなど、都会では当事者としてなかなか味わえないことだと思えます。私が育った坂本地区は、勝浦町の中でも特に農村文化が色濃く残った場所です。ここを盛り上げて、もっと楽しく暮らせる場所になるように、これからもその手助けをしたいと考えています。

### 私のとっておき勝浦町

My fav! Katsuura

#### 『坂本地区の皆さん』

困ったことでもすぐ手助けしてくれる、頼れる先輩たち。年齢にかかわらず、いつもパワーをもらえます。



#### 新居 慧香さん ■出身地：徳島県

- 移住年：2015年
- 移住前の住所：京都府
- 職業：農業・団体職員

最近勝浦町にも増えてきたUターン組の若者たち。その中でも特別、地元愛にあふれた活動をするのが彼女。坂本地区の女性たちで構成される『坂本おんな神楽』で太鼓を叩いたり、同地区の農村体験型宿泊施設『ふれあいの里さかもと』のスタッフとして働きながら、地域活動にいそむなど、マルチな活躍をしています。



ふだんは道の駅にて勤務

## 地域おこし協力隊 として勝浦町に赴任

二〇一六年の秋に地域おこし協力隊として、徳島県の上板町から勝浦町に移住してきました。元々は母がその制度に興味を持って、様々な地域での募集について調べていたのがきっかけです。ちょうど勝浦町で募集が出たときに、父親は仕事の取引先で町の方を知っていたり、祖母も町に知人がいて二人から「この町は人のいい方が多い」と勧められ、勝浦町に興味がありました。

協力隊には、自分たちで町の課題を解決するために事業を組み立てるという自立性が求められますが、そうしたスタイルで仕事をすることが新鮮に感じられ、自分でも何か役に立てるのではないかと考え、応募しました。現在は赴任してまだ日が浅いこともあり、様々な方とお会いし、町に馴染んでいくといった段階ですね。

実はかなり人見知りな激しい性格で、当初は近所の方や借家の大家さんと話をするのも苦手でした。また、道の駅が勤務場所ということもあって、道案内をする機会も多いのですが、地図を読むことも苦手なんです。それでも、町の方が私の名前を覚えて気さくに声をかけてくださったり、分らないかなった道も、何度か通ってみることで覚えたりと、少しずつですが改善できています。最近では自分で進んで町のイベントに参加してみたりなど、以前に比べ社交的にもなってきました。



勝浦町の魅力を  
もっともっと伝えたい。



シェアハウス『坂本家』での交流会にて

## 勝浦町に 来て見てほしい

勝浦町でも三溪という、比較的便利な場所に住んでおり、近くのスーパーに買い物物にも行けるので、想像していたほど不向きは感じていません。実は徳島の方にとっては勝浦町は認知度が低く、ものすごく辺鄙な土地のイメージがありますが、実際私もそう思っていたのですが、来れば分かることも多いと思います。ぜひとも一度は町に来ていただきたいですね。私も、もっと町の魅力をPRできるように頑張りたいです。

宮本 玲香さん ■出身地: 徳島県

■移住年: 2016年 ■移住前の住所: 徳島県

■職業: 地域おこし協力隊

徳島県ではじめて地域おこし協力隊の受入を開始したのは勝浦町。2010年からはじまって宮本さんは4期生。町には現役隊員、OB 隊員含めて6名の隊員が全員、卒業後も町を出ていくことなく活躍しています。町では定期的な募集を行っていませんが、興味のある方は当町のHP か JOIN のサイトをご覧ください。(2017年3月現在) <https://www.jiu-join.jp/chikiokoshi/>

私のっておき勝浦町

My fav! Katsuura

『杉屋さんの勝浦牛』

スーパー杉屋さんで販売している勝浦町産の牛肉。味わい深くて、両親にも人気なんです。



# 勝浦のある風景。

## 坂本地区 編



① 勝浦町の中でも山手にあるのが「坂本地区」



③ 美しい石垣として、みかん畑が並んでいる



② 急な斜面に家や



河原崎 彩子さん ■出身地：兵庫県  
『絵かきミクロ』名義で、長野県栄村をはじめ、秋田、岩手などの農村地帯で地域に滞在し、体感したことをルポタージュや風景画で描くアーティストとして活動。勝浦町には2016年11月にAIR事業招聘作家として来町した。  
<http://ekaki396.wixsite.com/tabii>

気がくで世話好き、な方が多い町ですね  
現在、兵庫県丹波市に住んでいて、祖父が経営する肉牛の繁殖農家の手伝いと、アーティスト活動を行っています。学生の頃から農村地域に滞在して、そこで風景画を描いたり、体験したことをイラストでルポタージュする活動をしてきました。今まで、長野や岩手、秋田、山形、福島など七か所で行っており、勝浦町で八か所目となります。

勝浦町は、とても気さくで世話好きな方が多いですね。また、一つのことを質問すれば十返ってくるような話好きな方が多いことも驚きでした。  
風景としては、山のみかん畑が石垣で丁寧に組まれていることが新鮮に感じられました。それに柑橘の種類が豊富ですね。特に『ゆこう』というものはじめて知ったのですが、甘さと酸味のバランスが独特で、それを使ったお寿司など、たいへん美味しかったです。



立川地区を描いた水彩画

移住すると考えた際には『坂本家』はもちろん『ふれあいの里さかもと』のように、地域の方と移住されている方が分け隔てなく交流できる場所があって、地域に溶け込んでいきやすいという印象を受けました。  
どの地域に行っても「こんな何にもない場所はどうして来たの?」と問われることがあります。都会と比べ、便利なものやきらびやかなものこそありませんが、ここにはない魅力が必ずあります。勝浦町は、そうした魅力を伝えてくれる方が多いですね。楽しい人と出会えると、その人に会いに行くということが、旅の目的となったりますから。この町は、また訪れたい場所になりました。

ちょっとの間



### 勝浦町に住んでみませんか?

勝浦町のお試し定住施設「田舎トライアルハウス坂本家」は、2泊～最大3か月の期間、移住希望者に廉価な賃料でお貸し出しするシェアハウスです。勝浦町の最奥、坂本地区で人と自然に触れながら、勝浦町での生活を体感ください。

◎ご利用開始までのイメージ

お問い合せ 事前受付

利用申請書の提出

住宅への「案内」

お試し暮らし開始

◎連絡先 ※事務所不在も多いためなるべくE-mailかFBでの連絡をお願いします。  
〒771-4308 徳島県勝浦郡勝浦町大字坂本字平野 41  
☎050-3438-7728 (受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:00)  
E-mail/ [trialsakamoto@quolia.ne.jp](mailto:trialsakamoto@quolia.ne.jp)  
Facebook 田舎トライアル

※いきなりの利用はできません。必ず事前受付をお済ませください。





⑪ 屋久杉などの良材を使用した  
「離れ」が展示会場になる



⑩ 現在も暮らししている方がいる。  
国の登録有形文化財の本林家



⑤ お遍路さんと出会っても  
「こんにちは」



④ 赤くと穏やかな坂本の  
風景が楽しめる



⑬ 坂本地区は、夜も美しいので  
ぜひ宿泊を



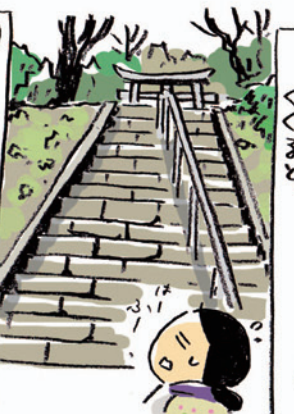
⑫ 森本家から少し上がった  
ところにある「風の駅」もおすすめ  
昭和の懐かしい  
その味わい  
美味しコーヒーが  
いただける



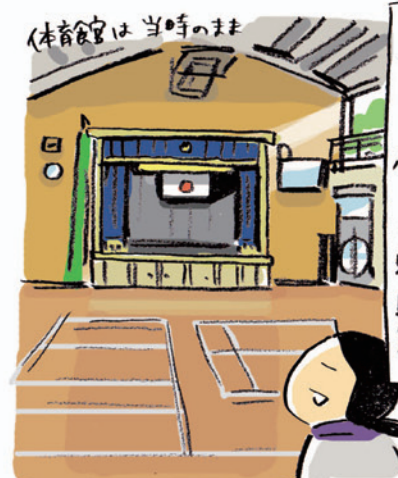
石段をのぼって  
ふり通ると、気持が  
良い景色！



⑦ 参拝できるのが、坂本八幡神社



⑥ 急な石段と7つの鳥居も  
くぐると



体育館は当時のま

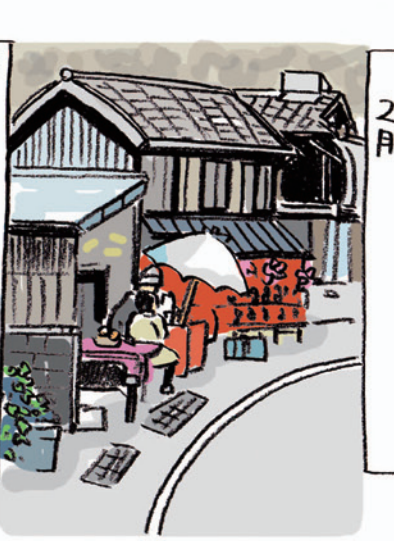
⑮ 旧坂本小学校を改修した  
館内は、懐かしい雰囲気が



⑭ 宿泊できるところはこの箇所  
1つ目は「ふれあいの里」かもと



⑨ 家の軒下におひなさまが並ぶ  
「おひな街道」が楽しめる



⑧ 坂本地区が賑やかになるのは、  
2月



木島 茜さん ■東京都東村山市

2015年12月～2016年1月に当家を利用。四国遍路で旅していた友人より当家の存在を聞いたことがきっかけで、一週間ほど試住した。

**地域に溶け込むことで  
滞在中の不安も解消**

四国遍路をしていた友人が勝浦町で宿泊した際、『坂本家』のことを知り、四国への移住を考えていた私に教えてくれたことが、勝浦町へ訪れるきっかけになりました。到着したのが比較的遅い時刻だったこともあり、街灯も乏しい場所です。ほとんど暗くなっていくのが、当初は心細く感じられました。翌朝、ようやく勝浦町の様子を目にしたのですが、まるで日本昔話の風景のような、懐かしい里山の

雰囲気でも、とても安心しました。私が滞在したのが、ちょうど年をまたぐ時期だったため、地区のお餅つきや、お宮での年越し行事にも参加させていただきました。どれも初めての体験でしたが、地域の方と知り合うことで、心細い気持ちや、ほとんど緩和されていったことが印象的でした。また機会をもうけて、勝浦町に訪れてみたいと考えています。『坂本家』の利用もよいですが、『ふれあいの里さかもと』のような宿泊施設の利用も検討してみようと思っています。



濱田 亜加理さん ■甲南大学 文学部社会学科

2016年3月に、研修で訪れた帯谷ゼミの学生たち。当家や『ふれあいの里さかもと』での視察を軸に、勝浦町での地域づくりについて学ばれました。

**もう一度訪れたい  
そんな場所**

ふだん都会に住み、車も持っていない私には、勝浦町での生活は少し不便に感じました。それでも、もう一度ここに来たいと思う魅力を二つ感じることができました。一つは『坂本家』の近くを散歩しているとき、近所の方から突然声をかけられ、デコポンをいただいたことです。見ず知らずの他人に親切に対応する、ということは簡単なようで難しいものだと感じます。そんなさりげない優しさを

持った方が多い町だなあと感激しました。もう一つは『ふれあいの里さかもと』が中心となり行っている、さかもとおひな街道などのイベントや農村体験メニューです。住民一人ひとりが参加し、作り上げるこうしたものに、この地域の元気を強く感じる事ができました。今回は三日間という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。自分の住む神戸を、これからのようにして良い町にするかのヒントをたくさんいただきました。



17 さらに様々な体験も楽しめる



16 スタッフのみなさんが温かく迎えてくれて、



自炊できる古民家!



18 何日か滞在して、移住体験をしてみたい人は『坂本家』へ



20 めんひり、ゆづり、また来たくなる坂本地区



19 何より楽しいのは、地元の人たちとの交流

勝浦の、あじ風景。

取材日：2016年11月 絵文：桑名かき ミコロ

# 勝浦暮らしマップ

KATSUURA MAP

## ◎お買いもの環境

食料品や日用品などの生活必需品をはじめ、美容室や飲食店などもあり、日常生活は町内でほとんど済ませることが出来ます。ただし飲食店含め、夜間営業している店は少ないので、その点にご留意ください。コンビニエンスストアも2軒あり、どの地区からでも車で10分圏内となります。

## ◎学校・保育園

2つの認可保育園、2つの小学校（横瀬：86名、生比奈：129名）、1つの中学校（109名）があります。保育園では6ヶ月児からお預かりしています。なお、体調不良児に対応するため、それぞれに看護師を配置しています。4月入所の場合は、待機児童数ゼロとなっております。（年度途中入所の場合はお待ちいただくことがあります）また、学校給食センターにより、生産者の顔が見える『地産地消給食』の提供にも力を入れています。

## ◎地区構成

勝浦町には沼江、石原、西岡、山西、黒岩、今山、掛谷、中角、生名、星谷、久国、棚野、立川、横瀬、中山、与川内、坂本の16地区があり、それぞれの地区で自治会が組織されています。自治組織は、地域に住む人同士が互いに協力し助け合いながら、地域の様々な活動に取り組む住民組織です。

徳島市と勝浦町の境となる山。徳島市最高峰で、毎日登山の方も多い。



中津峰山 (773m)

勝浦フライトパーク



星の岩屋 (星谷寺)

仏陀石

滝の裏手に回って、その流水を透かし見る事ができる名勝地。

裏見の滝 (不動滝)

ここを起点とし、川沿いの道を走るランナーも多い。

星谷運動公園



今山農村舞台

日本で2例しか確認できていない船底形式をもつ人形浄瑠璃等の舞台。

↑至徳島市・小松島市

22

至阿南市→

3万件以上のお土産を展示する大規模な祭り発祥の地。

人形文化交流館 (ビッグひな祭り会場)

町民の台所とも言える産直市場。みかんの季節は特ににぎわいます。

道の駅 「ひなの里かつら」

よつてネ市 (JA産直市場)

町のほぼ中心にある町役場の色んな制度等の相談にも応じてくれますよ。

勝浦町役場

図書館

勝浦川の鮎は藩政時代の殿様「蜂須賀公」より立川太郎の名を賜った鮎鮎。

勝浦病院

町民体育館

農村環境改善センター

新坂本トンネル

勝浦町のお試し定住型シェアハウス。移住希望の方は格安で入居可能。

田舎トライアルハウス坂本家

このあたりで例年6月上旬ホテル祭りというイベントを開催しています。

坂本地区は徳島県産みかん発祥の地です。(記念碑もあるよ)

灌頂ゲ滝

ふれあいの里さかもと

坂本八幡神社

旧坂本小学校を改装した農村体験型宿泊施設。お通路さんの利用も多い。

←至大河原牧場

四国別格霊場第3番札所 慈眼寺



婆羅尾高原

ここから中津峰山～大河原高原へ抜ける山道は、トレイルランにも最適。

前川キャンプ場

何と無料で利用できるキャンプ場の利用の際は連絡してね。

円城寺

四国では著名な立川ボルダはこのあたり。ローカルルールをしっかり守ってね。

恐竜の里

四国ではじめて恐竜の化石が発見された場所を記念して作られました。

山の中腹にある四国霊場難所寺のひとつ。お通路さんの鈴の音が響く。

四国霊場第20番札所 鶴林寺

## 勝浦暮らしのデータ

- ◎面積 : 69.80 km<sup>2</sup>    ◎人口 : 約 5,400 人
- ◎年間平均気温 : 16°C (最低気温 2°C 《1月》 / 最高気温 31°C 《8月》)
- ◎最多月間降雨量 : 約 300mm

町を貫流する勝浦川沿いの河岸段丘状の平野部に、集落が点在する中山間地です。県道16号線が主要幹線となり、平日の交通量は約500台となります。



### 3 住まいと仕事探し

仕事に就いていなければ、住居が借りられない場合も多いため、並行して活動することをおすすめします。なお、勝浦町役場では『空き家バンク』制度によっていくつかの物件を取り扱っていますが、条件の良い物件は少ないのが現状です。『田舎トライアルハウス坂本家』に居住しながら、地域の方に情報をいただくのが最も確実な方法です。仕事については事前にどんな求人があるのか、賃金相場がいくらなのかを事前に確認してください。また、60歳以上の方であればシルバー人材センターへの登録も可能です。

#### □仕事を探す

ハローワークインターネットサービス  
<https://www.hellowork.go.jp/>

公益社団法人 勝浦町シルバー人材センター  
〒771-4305 徳島県勝浦郡勝浦町大字久 国字久保田3  
☎0885-42-2304

### 4 移住し、地域になじむ

住居の準備が整えば、いよいよお引越しです。入居したら区長さんに相談しながら、近所の方への挨拶をしましょう。また移住後は、なるべく地域の行事に参加するようにしてください。交流を持つことで、地域の慣習を教わったり、頼りになる仲間ができたりするはずです。それらは地域のつながりを保つために、大切なことです。難しく考えなくて大丈夫です。まずは挨拶からはじめてみてください。

### 1 情報を集めましょう

移住候補地を知ることははじめましょう。移住者検討者向けのパンフレットや、東京・名古屋・大阪などで開催される移住相談会も活用してください。勝浦町では、町のホームページや移住ポータルサイト、または『田舎トライアルハウス坂本家』の Facebook ページなどから情報を集めることもできます。

#### □資料を請求する

田舎トライアルハウス坂本家/  
〒771-4308 徳島県勝浦郡勝浦町大字坂本字平野41  
☎0885-42-2511 (代) E-mail/trialsakamoto@quolia.ne.jp  
※事務所不在も多いため、E-mail での問い合わせを推奨します

#### □インターネットで CHECK

田舎トライアルハウス坂本家 Facebook  
<https://www.facebook.com/trialsakamoto/>

勝浦町移住ポータルサイト『カツ・ユー・ライフ』  
<https://katsu-u-life.jp/>

勝浦町役場  
<https://katsu-u-life.jp/>



### 2 実際に行ってみる

候補地が絞れたら、実際に現地に行ってみましょう。勝浦町では『田舎トライアルハウス坂本家』を活用した一定期間の滞在を強くすすめています。

#### □ラクセス情報

→坂本家については P12 を。現地までのアクセスは下記を参照ください。

### 子育て支援

□子どもはぐくみ医療費助成  
勝浦町に住民登録し健康保険に加入している 0 歳～18 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日までのお子様の入院・通院の保険診療分の医療費の一部を助成します。  
※婚姻している方や保護者の扶養となっていない勤労者の方などは対象外です。

□出産祝い金  
第 1 子 30,000 円、第 2 子 50,000 円  
第 3 子以降 100,000 円  
※母親が出産の日に勝浦町に住民票を有し、その後 6 ヶ月以上居住する意思のあること等の条件あり

□乳児一般健康診査無料化  
乳児一般健康診査無料 (2 回)

□多子世帯の保育料減免  
5 歳児実質無料  
第 3 子以降保育料免除

□保育所  
町内に 2 箇所あり、4 月入所の場合は待機児童数ゼロとなっています。

□放課後児童クラブ  
町内に 2 箇所あります。町の基準を持たせば、利用料の一部減免、もしくは無償。

### 教育支援

□勝浦町育英奨学金  
①高校・高等専門学校  
月額 2 万円以内  
②徳島医療福祉専門学校・大学  
月額 3 万円以内  
③徳島医療福祉専門学校・大学入学資金  
4 万円以内

□奨学金返済助成金  
◎対象となる奨学金  
①日本学生支援機構 (第一種奨学金・第二種奨学金)  
②勝浦町育英奨学金  
◎補助金額  
前年度に返還した奨学金の 3 分の 1 (ただし前年度の住民登録期間が 1 年未満の場合は、住民登録の月数で按分)

□遠距離児童等・生徒通学費補助  
バス通学 / 月額 3 万円以内  
自転車通学 / 月額 2 万円

□空き家バンク  
勝浦町内の空き家情報を収集し、適正な利活用に役立てるもの

### 創業支援

□杉の子基金  
勝浦町内における起業を支援し、活力ある地域産業を育成し、雇用の拡大をはかるもの。最大 100 万円を交付します。  
※適用に関しては各種条件がございます。

### 住まい支援

□『移住・定住』新築・空き家改修補助  
新築・新築購入 10% (最大 100 万円)  
空き家改修 2/3 (最大 100 万円)  
※5 年以上定住する見込みのある者  
※持ち家を貸すための改修も対象

□勝浦町定住促進賃貸住宅家賃助成事業  
若者 (子育て世帯) に対し、民間賃貸住宅の家賃の一部を助成。家賃の 3 割補助  
(子育て世帯 / 最大 2 万円、夫婦世帯 / 最大 1 万円)

□リフォーム補助  
①住宅安心リフォーム補助金  
一定の要件を満たすリフォーム工事費の一部を補助 (最大 70 万円)

②木造住宅耐震改修支援補助金  
一定の水準以上の耐震補強工事を行った場合の工事費の一部を補助 (最大 110 万円)

③耐震シェルター普及推進モデル事業  
耐震改修工事に要する経費の 4/5 以内 (最大 80 万円)

◎お問い合わせ⇒勝浦町役場 ☎0885-42-2511(代) ※情報はすべて平成 28 年度のもので。実施についてはお問い合わせください

#### □徳島県へのアクセス



東京から	1 時間 10 分	10 時間 (夜行バス利用)	18 時間
大阪から	2 時間 40 分	2 時間	福岡から 1 時間 25 分
京都から	2 時間 50 分	和歌山から 2 時間	関西国際空港から 2 時間 45 分

#### □勝浦町へのアクセス ※空港から車で 60 分、駅からは 40 分



#### ? 車がないと不便ですか?

マストではありませんが、あると絶対便利です。ないと、公共交通が路線バスしかないため、自由な移動がかなり制限されてしまいます。バイク (カブ) という手もありますよ。

#### ? 仕事はありますか?

勝浦町は『田舎のベッタウン』。隣接する徳島市や小松島市、阿南市で就業される方が多い町です。産業構造により都会に比べ業種・職種は減りますが、ないわけではありません。

#### ? インターネット環境は?

最大 100Mbps のベストエフォート型サービスが提供されます。プロバイダは限定されますが、CATV と IP 電話がセットで、格安で利用できます。接続者数も少ないので、比較的スライ。

#### ? 農業をはじめたいんだけど?

まずは新規就農について、ひととおり勉強することをおすすめします。その上で、役場職員にご相談ください。関係機関と連携し、農地の斡旋を含む就農支援についてサポートいたします。

#### ? どんな気候なの?

まずびっくりされるのが、雨が多いこと。そのため夏の湿度はやや高めとなります。基本『南国』なので気温も高くなりますが、都会のようなアスファルトの照り返しがないため、涼しく感じるはず。あと、ごくまれに雪が数センチ〜十数センチほど積もることがありますよ。

#### ? FAQ

移住フェアなどを開きやすくある質問です。



田舎トライアルハウス

坂本家

発行 / 徳島県勝浦町地域活性化協会  
<https://www.facebook.com/katsuurachikatsu/>  
制作 / 田舎トライアルハウス坂本家  
協力 / FJ Design inc.、KDDGPxxx、絵かきミクロ

平成 29 年 3 月 27 日発行  
田舎トライアルハウス坂本家 ☎050-7579-7728 (IP)  
当冊子の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を禁止します